



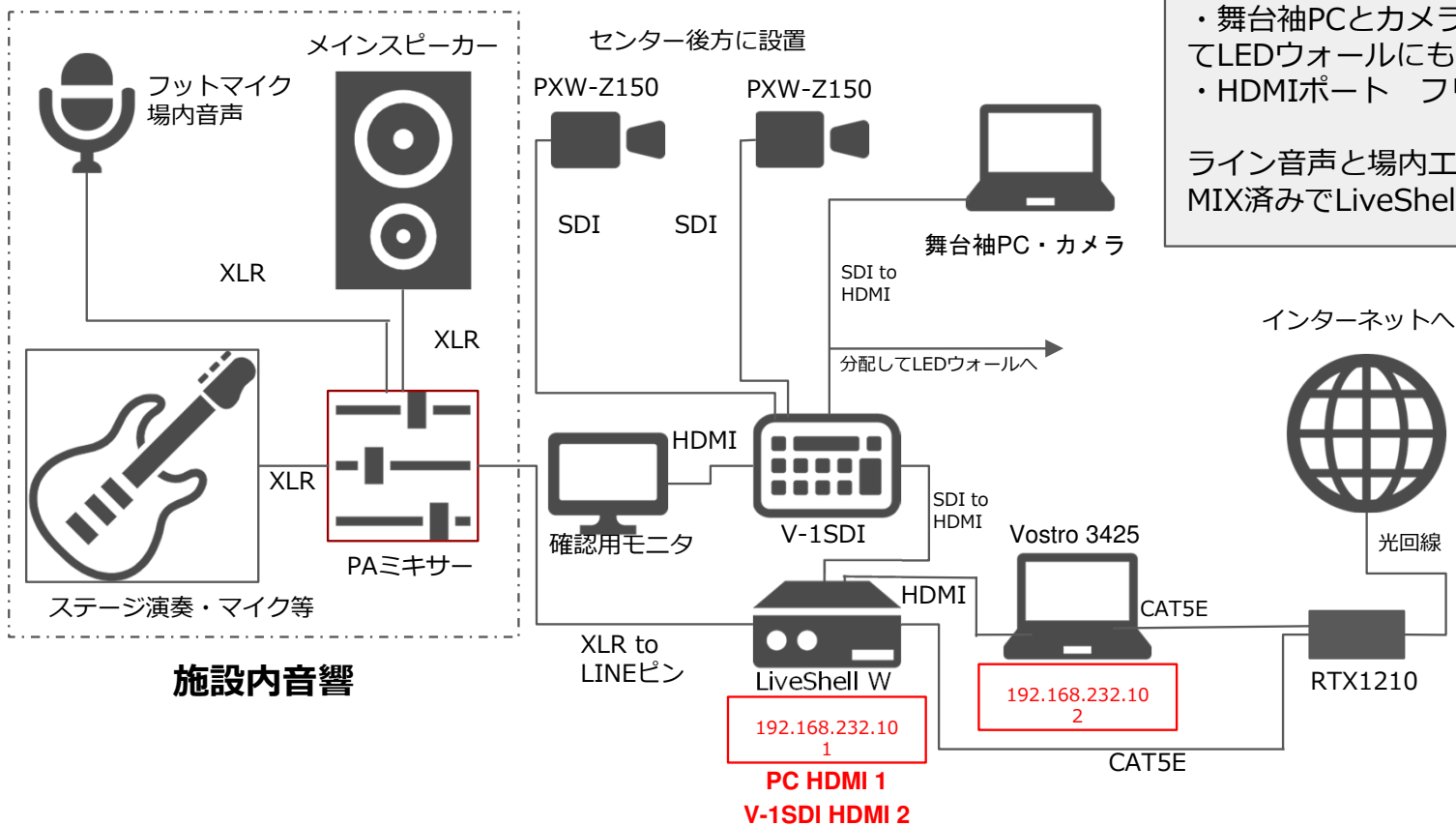
# シアターマーキュリー 配信マニュアル

2023/04/28 改訂



# シアターマーキュリー配信設備

## 機材構成図



スイッチャーV-1SDIはSDI×3,HDMI×1入力

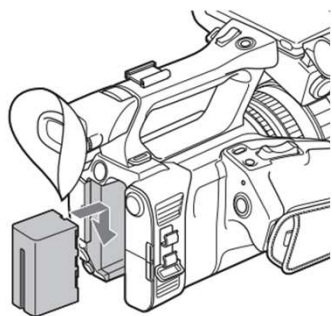
- ・カメラ2台（常設機材/SDIポート）
- ・舞台袖PCとカメラ（SDIポート/HDMI変換・分配してLEDウォールにも入力）
- ・HDMIポート フリー

ライン音声と場内エアー音声（フットマイク）はPAでMIX済みでLiveShell Wに送ることができます。

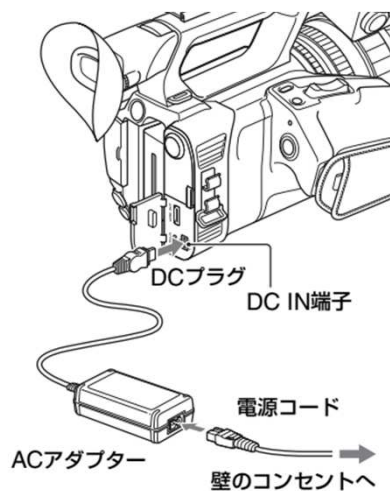
# 配信準備

## カメラの準備（2台）

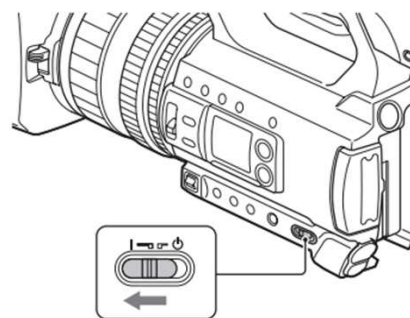
カメラにバッテリーまたはACアダプターを接続し、電源を入れてください  
バッテリーはスイッチャー卓足下の充電器で充電しています  
使用後は充電器に戻してください  
カメラの電源を入れてください



バッテリー利用の場合



アダプター利用の場合

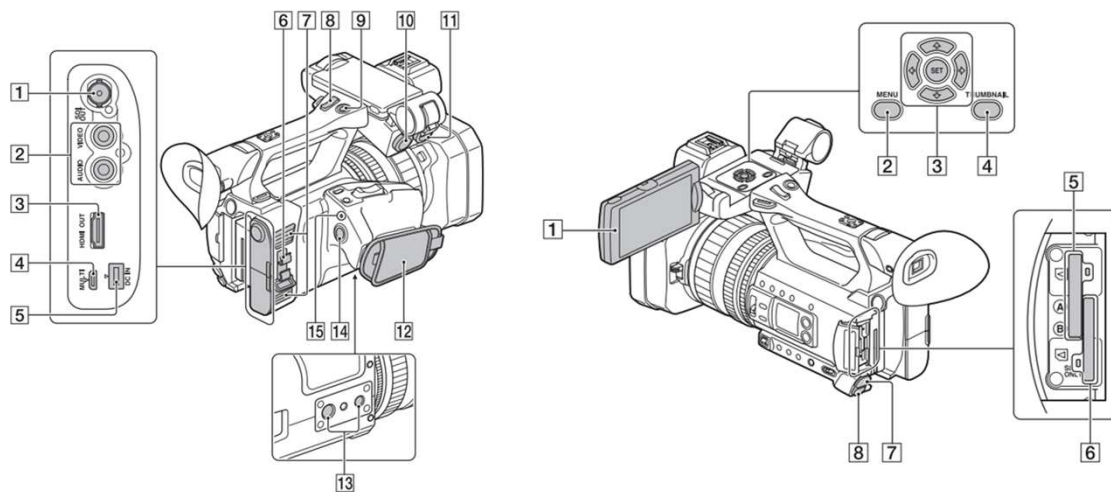


電源スイッチの場所

# 配信準備

## カメラケーブル類の接続

SDIケーブルでスイッチャーに接続してください  
10mx2本、床下を通る50m、予備の50mが用意されています  
SDカードスロットがあるので撮影と同時に録画することも可能です



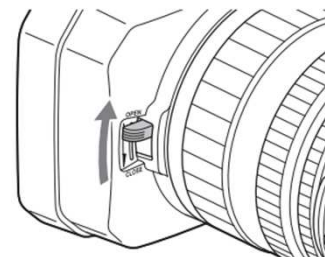
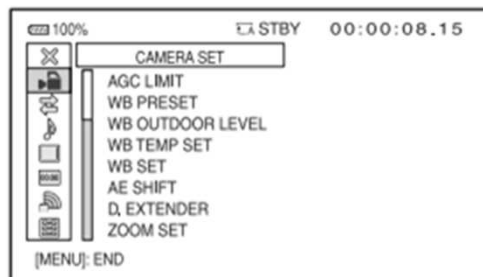
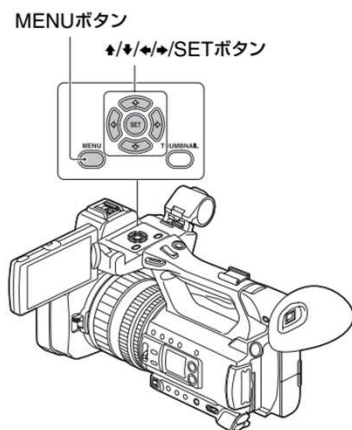
①がSDI出力

⑤⑥がSDカードスロット

# 配信準備

## カメラ設定の確認

メニューボタンを押して「地域・日時」を確認、ずれていたら修正してください  
 VIDEO OUTがSDI、画質が1080pまたは1080iになっていることを確認してください  
 レンズカバー付きフードのシャッターを開いて画像を確認してください



- ↔ REC/OUT SET 出力先・画質設定
- ☰ OTHERS 日時設定

# 配信準備

## スイッチャーの準備

ACアダプターが接続されていること、モニターの電源が入っていることを確認してください  
出力が1080pになっていることを確認してください  
電源ボタンを押してスイッチャーを起動します



映像フォーマット切り替え



電源ボタン  
アダプター入力

起動したらマルチビューモニターでカメラ映像が入力されていることを確認してください

# 配信準備

## LiveShell Wの準備

LiveShell W、LiveShell W操作用ノートPC（以下ノートPC）の電源を入れます

ノートPCのログインパスワードはノートPCにテプラで貼ってあるので確認してください  
Google Chromeを起動して、「192.168.232.101」にアクセスしてください  
ブックマークバーにもブックマークしていますので、そちらをクリックしても大丈夫です

LiveShell Wのuser名は「live」、パスワードは下図の要領でLiveShell Wの本体を操作して確認してください  
テプラでLiveShell W本体にパスワード情報を貼っているのをご確認ください

メインステータス画面でコントロールダイヤルを押下、MAIN MENUより「Web Login」を選択してください

```
MAIN MENU
Network
Encoder
Audio
System
```



```
NETWORK
Web Login
Primary Net Ether
IP Address
AP Mode Off
```

```
WEB LOGIN
user: live
pass: ss1096b9
URL:
http://192.168.1.7
http://192.168.1.8
```

# 配信準備

## 入力の確認

まずスイッチャー用モニターで各カメラからの入力が出来ていることを確認してください。

LiveShell Wへの入力確認はLiveShell Studio上で行います。

Input Bはスイッチャーからの映像、Input AはノートPCの画面が入力されています。(電源投入時はInput Bが出力されています)

Input AはPCから配信待機画像やパワーポイントや事前に用意したテロップ画像などを配信する場合にご利用ください。

音声はPA音響よりLINE入力していますので、LiveShell Studioのオーディオミキサーを確認してください。

アナログ入力のLINEとMASTER出力以外はMUTEに設定してください

HDMI 1は配信制御用PCの音声なのでPCを使ってBGMを鳴らす場合などにご利用ください

\*配信前にPA音響にて配信音量の調整を行ってください





# 配信準備

## インターネット疎通の確認

インターネットへの疎通が出来ているか、ノートPCのブラウザから配信予定のサービスページなどの外部のサイトにアクセスして疎通を確認してください  
万が一繋がらない場合は施設のネットワーク管理者にお問い合わせください

次項より配信の手順について解説します。

YouTube Liveを例として解説しますが、その他のサービスをご利用になる場合も基本は同じ要領になります。

詳しくはLiveShell Wオンラインマニュアルをご参照ください。

<https://liveshell-w-manual.cerevo.com/manual.html>

# 配信サービスへの接続

## YouTube Liveへの接続

LiveShell Wは各種配信サービスに対してRTMPあるいはRTMPSプロトコルでデータを配信します。配信サービスをご利用の場合はRTMP(S) URLとストリームキーをご用意ください。また配信サービス毎にエンコーダの推奨設定が異なりますので、各社配信サービスのマニュアルをご参照ください。



例としてYouTube Liveでの配信の手順を解説します

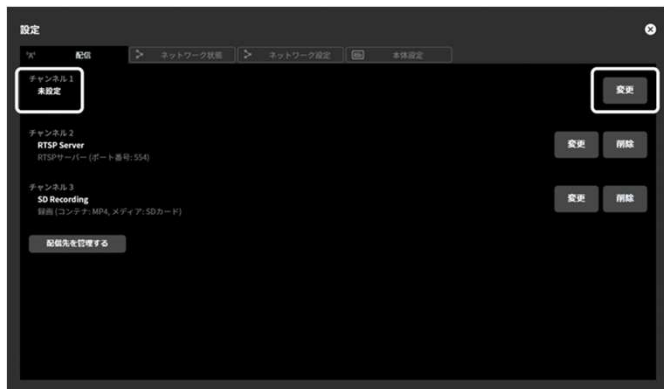
プログラム出力映像の上部にある歯車マークをクリックしてください。

基本的には一番左のタブをご利用ください。

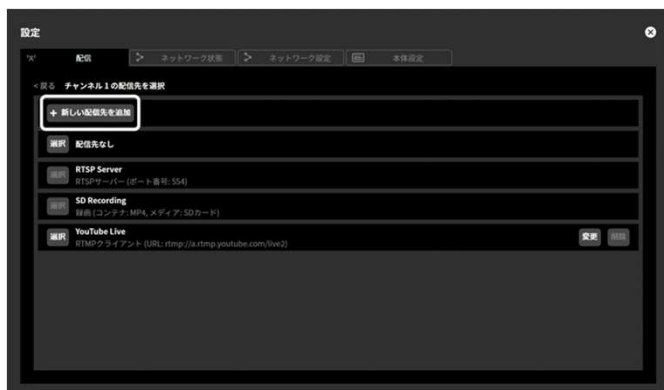
\*次のご利用者のために、配信終了後は設定を削除してご返却ください。

# 配信サービスへの接続

## YouTube Liveへの接続



チャンネル1の「変更」をクリックしてください



次の画面で「+新しい配信先を追加」をクリックします。

# 配信サービスへの接続

## YouTube Liveへの接続



下記を入力してください。  
表示名「任意の名称」  
配信先タイプ「RTMPクライアント」  
RTMP URL「配信先サービスより入手してください」  
ストリームキー「配信先サービスより入手してください」  
通信プロトコルは基本的には「未指定」でよいです。  
うまくいかない場合などはIPv4などに設定してみてください。



配信と同時に録画も出来ます。  
配信チャンネル3に予め設定してあるので、MicroSDカード、またはUSBメモリをLiveShell Wに取り付けた状態で保存コンテナと録画先メディアを指定してください。  
MicroSDカード、USBメモリはexFATでフォーマットしてください。

# 配信サービスへの接続

## YouTube Liveへの接続



設定した配信チャンネルを選んで、右下の「配信開始」をクリックすることで配信開始します。  
配信を停止する場合はもう一度クリックしてください。

録画は録画のタブを選んで同様に「配信開始」をクリックします。



LiveShell W本体の物理ボタンからも配信開始・停止が可能です。  
左からチャンネル1・2・3となります。

# 配信中の操作

## LiveShell Wの各種機能の活用

基本的には設備のカメラ2台をRoland V-1SDIで切り替えながら、映像配信していただく形となります。

LiveShell WにはPicture in Pictureやテロップ合成などの機能がございます。  
映像に対してテロップを乗せたい、カメラ映像にPicture in Pictureや画面分割で画像や動画を合成したいなどの場合はこの機能を活用していただけます。

これらの機能については事前にオンラインマニュアルをご参照ください。

<https://liveshell-w-manual.cerevo.com/manual.html>

カメラマニュアル

[https://contents.sony.jp/professional/manual\\_pdf/c\\_c/PXW-Z150\\_OM\\_4586803011.pdf](https://contents.sony.jp/professional/manual_pdf/c_c/PXW-Z150_OM_4586803011.pdf)

スイッチャー V-1SDIマニュアル

[https://proav.roland.com/jp/support/by\\_product/v-1sdi/owners\\_manuals/](https://proav.roland.com/jp/support/by_product/v-1sdi/owners_manuals/)